

## ごみの減量化にご協力をお願いします ～生ごみ処理機モニター事業の経過について①～

町では、ごみの減量化を推進しています。平成27年度の燃えるごみの焼却量は2,587トンで、田村東部環境センターで処理したごみの総量は3,236トン、要した費用(分担金)は約1億4,500万円となりました。これは、ごみを1トン処理するために約4万5千円がかかったこととなります。

各家庭から排出される燃えるごみの約5割は生ごみで、さらにその約8割が水分であると言われています。つまり生ごみの水分量を減らすことが「ごみの減量化」に最も効果的な方法となります。

町では平成28年度から生ごみ処理機の普及に取り組んでおり、生ごみ処理機の減量効果などを確認するため、町民の皆さんを対象としたモニター事業を実施しています。

本事業は、町民の皆さんに生ごみ処理機を貸し出して使用していただき、生ごみの排出量や減量効果、家庭から出る燃えるごみの量などを調査し、生ごみ処理機のデータ収集と

情報発信に活用することを目的としています。

10人のモニターの皆さんから4週間分の使用実績が報告されましたので、お知らせします。

家族構成の違いなどにより排出される生ごみの量に違いはありますが、最も多かった家庭で21.00kg、最も少なかった家庭で7.30kgでした。また生ごみ処理機で処理した後の生ごみを回収した量は0kgから7.20kgで、減量化率は100.0%から65.7%、平均で85.3%となりました。

今回のモニターの4週間分の報告の平均を用いて、1世帯当たりの年間(52週)の生ごみの削減量を試算すると約140kgの減量化となります。

モニター期間は8週間となっていますので、4月号でも引き続き報告します。

町民生活課 ☎72-6933

### ■生ごみ処理機使用実績

(単位：kg)

モニター	生ごみ処理機の種類	生ごみ処理機に投入した量	生ごみ処理機から回収した量	生ごみ処理機で減量化した量	生ごみの減量化率	燃えるごみの量	燃えるごみの量 (生ごみを未処理で捨てた場合)	減量化した燃えるごみの量	燃えるごみの減量化率
Aさん	乾燥式	7.45	1.30	6.15	82.6%	14.26	20.41	6.15	30.1%
Bさん		14.45	2.48	11.97	82.8%	19.09	31.06	11.97	38.5%
Cさん		12.55	2.02	10.53	83.9%	23.00	33.53	10.53	31.4%
Dさん		14.72	1.88	12.84	87.2%	20.65	33.49	12.84	38.3%
Eさん		17.40	2.84	14.56	83.7%	12.00	26.56	14.56	54.8%
Fさん	バイオ式	16.66	1.00	15.66	94.0%	9.46	25.12	15.66	62.3%
Gさん		21.00	7.20	13.80	65.7%	12.00	25.80	13.80	53.5%
Hさん		8.12	0.00	8.12	100.0%	7.30	15.42	8.12	52.7%
Iさん		7.65	0.00	7.65	100.0%	20.22	27.87	7.65	27.4%
Jさん		7.30	0.00	7.30	100.0%	10.49	17.79	7.30	41.0%
合計		127.29	18.72	108.58	85.3%	148.47	257.05	108.58	42.2%
平均		12.73	1.87	10.86		14.85	25.70	10.86	

※各モニターが生ごみ処理機を4週間使用した実績